

令和8年産



# 気仙沼・南三陸 稲作情報 第4号

令和8年7月2日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8068 FAX 0226-22-1606

- **葉色値を維持し収量・品質を確保するため、必要に応じて追肥を行いましょう。**
- **紋枯病の発生量は「やや多」と予報されています。要防除水準を確認し、適期に防除を実施しましょう。**

## 1 気象の概況

5月はおおむね平年を上回る気温で推移し、6月はおおむね平年並みの気温で推移しました。宮城県を含む東北南部の梅雨入りは6月20日頃（速報値）とされ、梅雨入り後の6月第5半旬は平年を大幅に上回る降水量となりました。また、5～6月の日照時間はおおむね平年を上回りました。

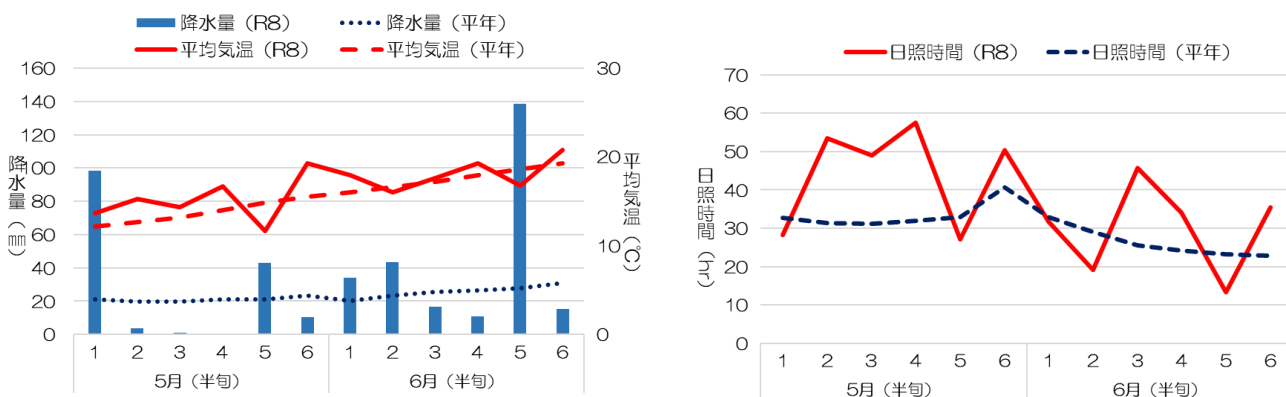


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：5月1日～6月30日）

## 2 水稻生育調査ほの生育概況（7月1日調査）

本年は、前年よりも移植時期が遅かったことから、草丈、莖数は前年を下回っていますが、前回調査時より前年との差は縮まっています。葉色値は前年を上回る40.4となりました。

表1 水稻生育調査結果（7月1日調査）

品 種 地区名	年	田植日	草丈 (cm)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	莖数 (本/株)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ	R8	5/25	33.6	360.4	19.8	40.4
気仙沼市本吉町	前年比・差	+11日	66%	53%	57%	105%

### 3 今後の栽培管理

#### (1) 水管理・中干し

- 中干しは、根の活力向上、無効分けつの発生抑制、作土層の硬化促進などの効果があります。**表2の目標莖数を確保したら、早めを実施しましょう。**
- 中干しは、田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく程度とします。

表2 品種別目標莖数

品 種	目標有効莖数	植付株数	1株当たりの目標莖数
ひとめぼれ	410～460本/m <sup>2</sup>	50株/坪	27～30本/株
		60株/坪	23～25本/株
ササニシキ	480～510本/m <sup>2</sup>	50株/坪	32～34本/株
		60株/坪	26～28本/株

- 中干しは、幼穂形成始期（幼穂長1～2mm、出穂25～20日前）までに終わらせましょう。
- **中干し終了直後は走り水程度（表面に浅く水を行き渡らせる）**とし、徐々に湛水状態に戻して、その後は**間断かん水**または**飽水管理**としましょう。  
※飽水管理とは、水田の足跡に水がなくなったら入水し、表土が十分湿ったら落水する方法。従来の間断かん水に比べてより土壌を酸化的に保ち、根の活性が高まる管理方法です。
- 平均気温で20℃以下の低温が続く時は、できるだけ深水にしましょう。

#### (2) 追肥

- 収量や品質を確保するには、**葉色値を落とさない栽培管理が重要**です。品種ごとの標準的な追肥の目安と生育ステージ（表3）を**確認して追肥**しましょう。

表3 追肥の窒素施用量の目安と生育ステージ

品 種	窒 素 施 用 量（成分量 kg/10a）	
	幼穂形成期（出穂25～20日前） ※幼穂長1～2mm	減数分裂期（出穂15～10日前） ※幼穂長3～12mm
ひとめぼれ	1	1
ササニシキ	—	1.0～1.5

#### (3) 病害虫防除

##### ①いもち病

- 県病害虫防除所の発生予報第3号（6月24日）によると、発生時期及び発生量は「**平年並**」となっています。
- 県病害虫防除所のBLASTAM（ブラスタム）によると、**管内では6月19日に準好適条件2が出現**しています。  
※準好適条件2：葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合  
※葉いもち感染好適条件の出現状況（BLASTAM（ブラスタム））は、県病害虫防除所ホームページで確認できます。

（URL:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>）

- 水田をこまめに見回り、発病がみられたときは、速やかに茎葉散布剤で防除しましょう。
- 追肥後は罹病しやすくなるため、発生に注意しましょう。



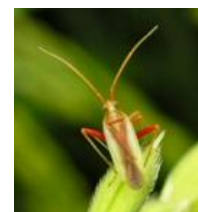
宮城県病害虫  
防除所  
BLASTAM

## ②紋枯病

- ・発生予報第3号によると、発生量は「やや多」となっています。
- ・茎葉散布剤による散布適期は、穂ばらみ期から出穂期です。要防除水準は、出穂直前の発病株率が「ひとめぼれ」で18%、「ササニシキ」で10%となっていますので、要防除水準に達した場合は防除しましょう。

## ③斑点米カメムシ類

- ・発生予報第3号によると、発生時期は「やや早い」、発生量は「平年並」となっています。
- ・水田内のヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前に斑点米カメムシ類を水田に呼び寄せるので、雑草対策を徹底しましょう。
- ・畦畔の草刈りは、出穂10日前までに終わらせ、雑草が穂をつけないようにしましょう。



県内での最重要種  
「アカスジカスミカメ」

## (4) 雑草防除

- ・残草があるほ場では、雑草の種類や葉齢、稲の生育ステージを確認し、中・後期剤等を適期に散布しましょう。

# 4 乾田直播栽培普及展示ほの生育概況（7月1日調査）

## (1) 調査ほでの生育状況

- ・前回調査では茎数が前年比168%となっていましたが、今回調査では草丈、茎数、葉色値が前年同程度となりました。

表4 水稻生育調査結果（7月1日現在）

品 種 地区名	年	播種日	苗立率 (%)	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色値 (GM)
ひとめぼれ	R8	3/25	66.1%	37.9	420.2	40.0
気仙沼市本吉町	前年比・差	-2日	98%	95%	97%	97%

## (2) 今後の栽培管理

前述の「3 今後の栽培管理」を参照。

## 5 高温に関する早期天候情報（東北地方）

（令和8年6月29日 仙台管区气象台発表）

東北地方 7月6日頃からかなりの高温

かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.4℃以上

東北地方の向こう2週間程度の気温は、暖かい空気に覆われやすいため平年並か高く、7月6日頃からはかなり高くなる見込みです。

農作物や家畜の管理等に注意してください。また、熱中症対策など健康管理に注意してください。

なお、1週間以内に高温が予測される場合には気象解説情報（高温）を、翌日または当日に熱中症の危険性が極めて高い気象状況になることが予測される場合には、熱中症警戒アラートを発表しますので、こちらにも留意してください。

### ★7月から9月は 夏の熱中症等声かけ期間 です！

農作業中の熱中症等による死亡者が急増しています！

このうち、約85%が7～8月に発生しています。

熱中症事故は、周りの人がお互いに気を配り、声をかけ合うことで、防げる可能性があります！



（参考）

農林水産省 HP

#### 熱中症対策の3つのポイント！

- ① 温度を見て作業を考えよう ② こまめに休憩を取ろう ③ もしもの時の応急処置

どうしても、一人作業を避けられない場合は…

- ・ 携帯で家族などと30分おきに連絡を取り合う
- ・ 危険な状態をアラートで伝えるウェアラブル端末を着用する

次回の稲作情報の発行は、令和8年7月13日頃を予定しています。